

2022 年 3 月期 決算について

株式会社AIRDOは、5月27日(金)、2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)決算をとりまとめました。詳細につきましては、別添の「2022年3月期 決算短信(非連結)」をご覧ください。

1. 2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績

(1)概況及び経営成績

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい影響が残るものの、一部持ち直しの動きがみられました。

国内航空業界においては、ワクチン接種等による行動制限の緩和により、航空需要は一時的に回復傾向にありましたが、その後の第6波による感染症再拡大の影響を受け、再び需要は減少に転じました。原油価格については、需要増加の期待感等により上昇傾向にあった中で、2月下旬のウクライナ情勢の急激な変化による影響等で高騰が継続しました。

このような状況の下で当社は、2021年10月の緊急事態宣言解除以降、特に年末年始につきましては、多くのお客様にご利用をいただきましたが、ウクライナ情勢の悪化や世界的な物価、金利の上昇とそれに起因する急激な為替変動の影響を受けるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。一方で、2020年度より取り組んできたコスト構造改革を進めるとともに、株式会社ソラシドエア(以下、ソラシドエア)との協業を軸とした「経営基盤の強化」に向けて準備を進めてまいりました。

従前より、減便や運航機材の小型化による直接運航経費や固定費の削減等に取り組んでまいりましたが、航空需要回復の見通しが依然不透明であるため、2021年7月に第三者割当増資による優先株式を発行し、安定的に事業を継続するための財務基盤の強化を図りました。

営業面では、2021年7月よりソラシドエアとの協業事業の一環として「ふたつの翼で全国を旅しよう」共同特設サイトを開設し、ポイント&マイル相互交換キャンペーンを実施しました。2022年1月には当社初となる「初日の出ツアー」及び「お正月デイフライト・ツアー」と題したチャーターフライトを実施しました。

また、北海道の観光振興の活性化を目的に、北海道と包括連携協定を締結する当社と株式会社ポケモンが連携し、きつねポケモンの「アローラロコン」と「ロコン」が機体の先から尾翼まで大きく描かれた特別塗装機「ロコンジェット北海道」を2021年12月に就航させました。

これらの結果、営業収入はコードシェアによる座席販売分も含め、27,313百万円(前年同期比56.9%増)となりました。

事業費は28,819百万円(前年同期比5.2%増)となりました。販売費及び一般管理費は3,229百万円(前年同期比7.4%増)、営業費用は32,048百万円(前年同期比5.4%増)となり、この結果、営業損失は4,735百万円、経常損失は4,692百万円、当期純損失は2,367百万円となりました。

【経営成績】

項目	前事業年度	当事業年度	増減	増減率(%)
営業収入 (百万円)	17,413	27,313	9,900	56.9
営業費用 (百万円)	30,410	32,048	1,638	5.4
営業利益 (百万円)	△12,996	△4,735	8,261	-
営業利益率 (%)	△74.6	△17.3	57.3	-
経常利益 (百万円)	△13,190	△4,692	8,497	-
当期純利益 (百万円)	△12,180	△2,367	9,813	-

(2) 運航実績、輸送実績

【運航実績】

項目	前事業年度	当事業年度	増減	増減率(%)
運航便数 (便)	13,536	18,967	5,431	40.1
就航率 (%)	98.9	98.5	△0.4	-
定時出発率 (%)	97.1	93.9	△3.2	-

【輸送実績】

項目	前事業年度	当事業年度	増減	増減率(%)
提供座席数 (千席)	1,554	2,433	879	56.6
旅客数 (人)	579,631	1,161,787	582,156	100.4
旅客キ口 (千人キ口)	547,830	1,091,204	543,374	99.2
座席キ口 (千席キ口)	1,465,586	2,295,617	830,030	56.6

(注) 輸送実績には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

【路線別座席利用率】

路線	前事業年度	当事業年度	備考
「札幌－東京」線	34.3%	51.6%	
「旭川－東京」線	43.1%	40.6%	
「女満別－東京」線	40.2%	42.3%	
「釧路－東京」線	42.2%	46.8%	
「帯広－東京」線	42.2%	50.7%	
「函館－東京」線	40.3%	49.2%	
「札幌－仙台」線	35.1%	27.7%	
「札幌－名古屋」線	43.9%	57.7%	
「札幌－神戸」線	22.7%	37.8%	
「函館－名古屋」線	30.2%	39.9%	
路線の平均	37.4%	47.5%	

(注) 路線別座席利用率には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

(3) 財政状態

【財政状態】

項目	前事業年度 2021年3月31日	当事業年度 2022年3月31日	増減
総資産 (百万円)	41,739	48,850	7,110
純資産 (百万円)	2,205	8,105	5,899
1株当たり純資産 (円)	47,431.08	19,499.37	△27,931.71
自己資本比率 (%)	5.3	16.6	11.3

2. 2023年3月期の見通し

わが国の経済動向については、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、経済活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される一方、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに加え、感染症拡大による影響についても引き続き注視する必要があります。

このような中で国内航空業界は、まん延防止等重点措置の解除以降、旅客需要は徐々に回復の兆しを見せてはいるものの、感染力の強い新たな変異株の発生と流行の可能性に鑑みると、未だ感染症再拡大が強く懸念される局面が続いております。これに加えて、原油価格の高騰や日米の金利差拡大を背景とした急激な円安の進行など、航空業界を取り巻く環境は依然として先行きの不透明な厳しい状況が続いております。

当社では、このような厳しい環境に適切に対応すべく、経営基盤のさらなる強化に向けて、5ヵ年(2022年度～2026年度)の「中期経営計画」を策定しました。本計画では「財務基盤の強化と成長軌道への回帰」を基本方針とした上で、将来の成長戦略を支える基盤形成と成長を確かなものにする施策を講じることで、再び成長できる体制を早期に構築する内容となっており、本年度より各施策の取り組みを開始しております。また、2022年5月30日にソラシドエアと「共同持株会社設立に係る契約書」を締結し、2022年10月の設立に向けて鋭意準備を進めております。

現下の新型コロナウイルス感染症の影響をはじめとした国内外の情勢は日々刻々と変化しており、今後の見通しも不透明さは残りますが、当社は如何なる状況下においても安全運航の確保を最優先としたうえで、中期経営計画の着実な遂行を通じて、持続的な成長と企業価値の更なる向上を目指してまいります。

なお、2023年3月期の業績見通しについては、現時点において合理的に算定することが困難なことから未定とさせていただきます、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

以上

(別添)

2022年3月期 決算短信 (非連結)

2022年5月30日

会社名 株式会社AIRDO

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草野 晋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部担当 (氏名) 浦澤 英史 TEL (011) 252-5533

定時株主総会開催予定日 2022年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月29日

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の業績 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	27,313	56.9	△4,735	-	△4,692	-	△2,367	-
2021年3月期	17,413	△61.8	△12,996	-	△13,190	-	△12,180	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	△55,177.40	-	△45.9	△10.4	△17.3
2021年3月期	△261,937.62	-	△161.8	△30.2	△74.6

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 -百万円 2021年3月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	48,850	8,105	16.6	19,499.37
2021年3月期	41,739	2,205	5.3	47,431.08

(参考) 自己資本 2022年3月期 8,105百万円 2021年3月期 2,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	-	-	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年3月期	-	-	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年3月期 (予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株の配当状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

2023年3月期の業績予想については、現時点において合理的に算定することが困難なことから未定とし、開示が可能となった時点で速やかに開示致します。

※注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期	46,501株	2021年3月期	46,501株
② 期末自己株式数	2022年3月期	—株	2021年3月期	—株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	46,501株	2021年3月期	46,501株

※ 決算短信は、監査法人による監査対象外となります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(参考) 種類株式の配当状況

甲種優先株式	年間配当金					配当金総額 (合計) 百万円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	
2021年3月期	—	—	—	0.00	0.00	—
2022年3月期	—	—	—	283,835.62	283,835.62	198
2023年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	

貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	22,714	流動負債	12,235
現金及び預金	16,627	営業未払金	5,037
営業未収入金	933	1年内返済予定の長期借入金	1,244
有価証券	200	1年内返済予定の 関係会社長期借入金	743
貯蔵品	193	リース債務	2,171
前払費用	331	未払金	748
未収還付法人税等	0	未払費用	305
デリバティブ資産	2,875	未払法人税等	17
その他	1,552	預り金	1,857
		その他	109
固定資産	26,136	固定負債	28,510
有形固定資産	16,074	長期借入金	5,331
建物	289	関係会社長期借入金	4,668
航空機	2,046	リース債務	12,871
工具器具備品	156	退職給付引当金	993
リース資産	13,403	航空機材整備引当金	4,645
建設仮勘定	132		
その他	44		
無形固定資産	141		
ソフトウェア	140	負債合計	40,745
その他	0	純資産の部	
投資その他の資産	9,920	株主資本	6,226
長期前払費用	6,858	資本金	100
繰延税金資産	2,586	資本剰余金	8,641
その他	476	その他資本剰余金	8,641
		利益剰余金	△2,514
		その他利益剰余金	△2,514
		繰越利益剰余金	△2,514
		評価・換算差額等	1,878
		繰延ヘッジ損益	1,878
		純資産合計	8,105
資産合計	48,850	負債純資産合計	48,850

損益計算書

(自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
営業収入		27,313
事業費		28,819
営業総損失		1,505
販売費及び一般管理費		3,229
営業損失		4,735
営業外収益		
受取利息	1	
有価証券利息	0	
受取手数料	21	
受取負担金	115	
雇用調整助成金	344	
為替差益	8	
その他	47	538
営業外費用		
支払利息	448	
その他	47	496
経常損失		4,692
特別利益		
固定資産売却益	41	
受取精算金	879	921
特別損失		
固定資産処分損	88	88
税引前当期純損失		3,860
法人税、住民税及び事業税	17	
法人税等調整額	△1,510	△1,492
当期純損失		2,367